

くらしのすまいりんぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

2020年4月1日発行
NO.0070
発行責任者：(株)文化舎東毛
〒376-0101
みどり市大間々町大間々1190-4
☎0277-73-4850

今月の話

1. 今月の話題 ～新 1000 円札 北里柴三郎～
2. 保険の保険 ～保険会社の選び方①～
3. 建築知識 ～家庭で気候変動と闘う～
4. 旬を食べる ～はちみつ～
5. 手話
6. 辛口コラム ～エチオピアの森林再生活動～



今月の話題 ～新 1000 円札 北里柴三郎～

ちょうど 1 年前、2024 年をめどに発行される新札のデザインが発表され、新千円札は「日本の細菌学の父」ともいわれる、北里柴三郎が採用されることになりました。北里氏は 1853 年阿蘇生まれ、17 歳ころまで武士や軍人になることを目指していたが、親の薦めで熊本の医学所でオランダ人医師マンスフェルトの影響で医学を学ぶこととしたそうです。



財務省が発表した、新たな千円紙幣

北里柴三郎 超略年譜

- 1883 東京大学医学部卒業後、内務省衛生局に奉職
- 1885 ドイツ留学
- 1886 ロベルト・コッホ研究室で細菌研究開始
- 1889 破傷風菌、気腫菌の純粋培養に成功
- 1890 破傷風の血清療法確立
- 1891 帰国
- 1892 伝染研究所を設立
- 1894 国内初の結核サナトリウム開設、ペスト菌発見
- 1914 北里研究所を設立
- 1917 慶応大学医学部を創設
- 1918 北里研究所の財産一切を寄付
- 1920 東京府医師会設立
- 1923 日本医師会創設
- 1931 当時としては高齢の 78 歳で逝去

北里柴三郎の生涯 砂川幸雄著 NIT 出版からのデータを加工

ご本人の努力と能力が偉業の要因でしょうが、出会いにも恵まれていました。ドイツ留学が 3 年で打ち切れそうになったときには、森鷗外が調整役になり、近代細菌学の開祖、ロベルト・コッホに長期間師事できました。また日本に帰ってからは、伝染研究所の設立には福沢諭吉の援助がありました。赤痢菌の発見者志賀潔、黄熱病と闘った野口英世も北里柴三郎に師事し活躍しています。

成功の部分にスポットライトがあたる北里柴三郎ですが、ペスト菌発見には一部誤りがあったり、その他の発見についても激しい反論を受け、また本人も攻撃することがあったそうです。結婚をされていましたが、複数のお妾さんとの間に庶子が 5 人はいたとされています。

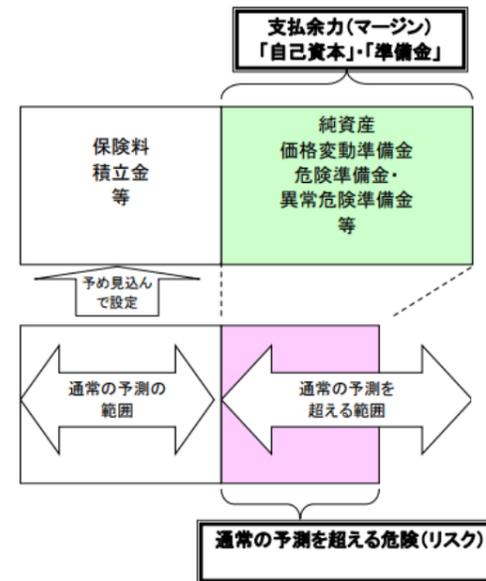
新型コロナの収束のめどは見えておらず、感染者数、感染による死亡者の数、経済の停滞など暗いニュースが連日報道されています。一刻も早く新型コロナの治療と予防方法が確立し、インフルエンザ程度の怖さになることが望めます。北里柴三郎の新 1,000 円札が発行される予定の 2024 年は、どのようになっているのでしょうか。

住宅の 火災保険・地震保険 保険会社の選び方①

2 月号では火災保険は、火災だけでなく、水害、落雷、風や鳥獣による害もオプションで補償対象になること、また、建物だけでなく設備や家具もオプションで加入できることをお話ししました。3 月号では、地震保険は火災保険とセットでのみ加入が可能で、火災保険の 5 割以下しか保険料がもらえないこと、それから建物でなく家財もオプションで加入できることを話しました。

今月からは保険会社の選び方についてお話しします。

選び方のポイントは①保険会社が信頼できるか②自分にあった補償対象を選べるか③被害にあった時に、保険金の受け取りがスムーズにできるかどうかの 3 つ。



H18/11/20 金融庁監督局保険課資料より

まず、①の保険会社が信頼できるかどうかですが、ソルベンシー・マージン比率という指標があります。

保険会社は災害時の保険金を加入者に支払うため、予め保険料を積み立てますが、予想を超える大災害等に備えて起きた時であっても、保険金を支払えるよう支払余力を確保しており、危険準備金、異常危険準備金という準備金および純資産も併せて支払余力(マージン)とよびます。

国は保険会社がに対して、支払余力を適正に保つため、ソルベンシー・マージン比率を 200%以上に保つことと法律で定めており、下回ると早期是正命令を受けます。

その計算式は下記のようになります。

$$\text{ソルベンシー・マージン率} = \text{マージン} \div (\text{通常の予想を超える保険金} \times 1/2) \times 100 (\%)$$

ソルベンシー・マージン比率が 200%以上という安心しがちですが、計算式に 1/2 という数字が入っています。200%であっても、会社の資本金を含めた支払い余力=通常の予想を超える危険(保険金)となり、もし 1 回でも想定以上の災害が来て保険金を支払うと、ソルベンシー・マージン率がゼロに近づき、実質継続負荷となってしまいます。

福島原発事故では想定を超えるという言葉は何度となく聞きました。また、昨年台風のように地域によっては複数回被害を受けることもあります。

頻発する災害に支払いが増え、さらに保険会社の資産運用成績が新型コロナの影響などで悪くなると、ますます支払い余力が減っています。保険会社選びは、複数のプロに相談するなどこれまで以上に慎重になる必要が出てきました。

次回は相談先についてお話しします。

建築知識 ～家庭で気候変動と闘う～

地球温暖化の影響は暖冬、漁獲激減、風水害などと身近に迫っています。西欧と違って日本人は遠い世界のこのように思っているようですが、日本は気候変動の影響を最も強く受ける国の一つです。私達も気候変動と闘うべきではないでしょうか。

日本では独特の「お風呂」の習慣があるため毎日多量のお湯を使います。そのため、家庭の「湯沸かし」エネルギー消費は西欧諸国と比較して抜群に大きく、例えばドイツの家庭の3倍近くです。これを気候変動の点からみると、お湯沸かしによって1世帯が1年間で排出するCO2は通常のガス給湯器を使った場合1.2トン少々。エコキュートは家庭でCO2を出さない代わりに発電所でこれ以上の量を排出します。戸建て住宅は約3千棟、それらが1年に排出する3千3百万トンのCO2が地球を温暖化しています。

そこで、試しに戸建て住宅の2軒に1軒がやや大型の太陽熱温水器を設置したとすると、年間のお湯沸かしの60%程をまかなってくれる、と言うことは、年間1千万トンのCO2排出削減をしてくれます。日本の家庭部門のCO2排出量1.9億トンは増加傾向にあり、削減寄与は決して僅かなものではありません。ちなみにチェルノブイリ発電所事故の放射能汚染を経験したドイツは、風力発電などを急加速させたと同時に、太陽熱温水器の急速な普及に努めた結果、今では30年前の200倍以上が設置され、温暖化と闘っています。



旬を食べる ～はちみつ～

はちみつは長期保存が可能ですが、蜜の原料である主な花の季節の4月～5月が旬になります。

はちみつの効能とは??

- **疲労回復効果**
主成分のブドウ糖は体への吸収が早くエネルギー変換も効率よくされるので、素早く体力を回復させる効果があります。
- **ウイルス対策**
はちみつに含まれるグルコン酸には、殺菌作用があります。喉の痛みや咳止め、口内炎などにも効果があるといわれています。また、はちみつの中でもさらに強力な殺菌力をもつ「マヌカハニー」は、インフルエンザなどのウイルス対策にも有効だといわれています。
- **保湿効果**
普段の洗顔後に、小さじ2杯ほどのはちみつを、残った汚れを浮かせるように顔全体になじませ、すすげばクレンジングは完了。はちみつの保湿力を感じられます。
- **ダイエットにも効果的**
はちみつには血糖値を調整する機能があるため、脂肪がつきにくいというダイエットにうれしい効果があります。
- **二日酔いや花粉症にも**
はちみつに含まれるビタミンB2は肝機能を高めるため二日酔いにも効果があります。また、花粉症の予防・改善にも効果があります。まるで万病の薬...



手話

手話が広まり、市役所等のビジネスの場でも手話が使われるようになってきました。

そんな手話ですが、種類があるそうです！

• 日本手話

ろう者の母語であり、多くのろう者が使用しています。

手や指や腕を使う動作だけでなく、顔の部位である視線や口、舌、顎の傾きなどが重要な文法要素になっています。

• 日本語対应手話

基本文法が日本語のため、日本語文法そのまま手話単語で表します。

ろう者と聴者が会話する時や難聴者、中途失聴者が使用しており日本手話と違うところは、顔の部位を使わず、手と指を使った日本語になります。

※手話サークルで覚えるのは、大体が**日本語対应手話**です！！

手話にも方言があるとおり、外国の手話があります。同じ手話でも違った意味合いになることもあるそうです。

ろう者の方には、**コミュニケーションへの不安がある方も少なくないかと思いますが、弊社でも初心者ではありますが、手話ができる者がいますので、お気軽にお問い合わせ下さい😊**



例：ありがとう

辛口コラム ～エチオピアの森林再生活動～

サハラ砂漠南部の半乾燥地帯エチオピアは、100年前全土の1/3が森に覆われていましたが、伐採の結果今や5%以下に激減。森が無くなると表層の土が失われ植物も育ちにくくなり、その結果気候変動の影響を強く受けるようになります。

この悪循環を断ち切り地球温暖化に抵抗できるようにと、エチオピアでは何年も前から四国に匹敵するほどの面積の荒廃した土地を再生させることに成功しています。劣化地再生の専門家マケレ大学サラ・バーレン教授はアフリカオリーブの植林を推進しています。「約10年に1回の干ばつが最近では5年に1回に起きるようになった。私達は干ばつが来ても社会が機能できるようにしてはならない」とバーレン教授。雨が降ったら一滴残らず捕え、環境を修復することが必須です。木々は水滴を捕えて蓄え、川や池を再生させます。こうしてエチオピア北部では壮大な面積の再緑化を

開始。森は大気中のCO2を吸収し、自らの体として固定化、同時に酸素を放出します。だからアマゾンなど原生林は「地球の肺」とも言われます。

工業化諸国や企業が目標のCO2削減にどうしても足りない、森林を保有する途上国などからそのCO2削減効果を買う、カーボンオフセットという国際的な仕組みがあり、エチオピアは森林再生活動の成果により昨年は33,000ユーロを入手し、地元で学校を建てたり貯水池を作ったりに使いました。CO2削減の良いお手本と言えます。



BBC ワールドニュースより